



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT1763		
科目名	韓国語Ⅲ		
担当教員	田 昌禾		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 3		
講義室	1405	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 グローバル感覚-5% A2 異文化適応-5% D1 市民的要素と参加-10% K1 ライティングコミュニケーション-30% K2 オーラルコミュニケーション-50%		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期～3 発展期		
科目概要・キーワード	韓国語の入門過程を終えた人のための本格的な学習過程で、中級文法と会話・聴解能力の向上を目指します。会話、聞き取り、読解、作文を総合的に向上させる統合的授業と、会話、聞き取り、読解、作文を各機能別に集中的に伸ばす機能別授業をバランスよく組み合わせで行います。 （キーワード）中級文法、韓国社会、韓国文化 ※授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。		
授業の趣旨	■ 副題 日常生活でよく使用される中級レベルの韓国語を学びます。 ■ 授業の目的 ①中級レベルの韓国語能力を高めるために、日常生活でよく使用される寛容的な表現や様々な場面での具体的なコミュニケーション力を修得する。 ②韓国語コミュニケーション能力を高めるために、聞く・話す・読む・書くの4つの技能について何度も繰り返し修得する。 ③韓国に関する知識を養うために、韓国語の習得と同時に韓国の文化や社会について理解する。 ■ 授業のポイント 外国語はインプット・アウトプットを何度も繰り返すことがとても大切です。毎日予習・復習を行うことで多角的なコミュニケーション能力を身につけるようにします。		
総合到達目標	■ グローバルパーソンとしてコミュニケーションできる中級レベルの韓国語能力を高めるために、韓国語の中級レベルの知識を習得する。また、文章及び口頭で自らの考えを的確に表現し、様々な場面での具体的なコミュニケーションができるように修得する。 ・ 韓国語の音韻規則や個別発音などを注意しながら文章の中で正確に発音することができる。（第2回～14回） ・ 短文、そして複文や重文を正確に作ることができる。（第2回～14回） ・ 間接話法、友達同士で使う表現、敬語などを区別しながら話すことができる。（第2回～14回） ・ 日常生活で使う会話が自由に話せるようになり、日常生活の様々な問題なども解決できる。（第2回～14回） ・ 韓国語の習得と同時に韓国の文化や社会について理解できる。（第2回～14回）		

成績評価方法	■授業理解確認課題2回（20%）:適用ルーブリック A1・A2・D1 （評価の観点）当該単元の授業理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評（30%）:適用ルーブリック K1・K2 （評価の観点）韓国語授業内容の理解度を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。 ■授業総括・到達度確認・レポート講評1回（50%）:適用ルーブリック K1・K2 （評価の観点）日常生活で必要とする簡単な表現が韓国語でコミュニケーションできるかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。	
履修条件	『韓国語Ⅱ』を履修した学生（授業中の私語と携帯使用禁止）	
履修上の注意点	文法の暗記や文字を見てわかるだけではコミュニケーションができません。授業で学んだことをインプット・アウトプットを何度も繰り返しながら、授業外でも積極的に使ってみましょう。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 『韓国語Ⅱ』の全般的な復習と『韓国語Ⅲ』のガイダンス ②授業概要 『韓国語Ⅱ』の全般的な復習と『韓国語Ⅲ』授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、A2、D1)。 ③予習（60分） シラバスを確認する。 ④復習（60分） 『韓国語Ⅲ』に関する授業の内容、目的、到達目標を確認する。また、『韓国語Ⅱ』の全般的な内容を復習する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。
	2	①授業テーマ 数詞の復習 ②授業概要 数詞の復習と漢数語の数字と固有語の数字の使い分けなどを練習する。数詞や期間、数量・時間など数詞を用いた言い方を練習し、自分で読み書きや簡単な会話が自由に行えるようにする(A1、K1、K2)。 ③予習 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	3	①授業テーマ 語尾の復習 ②授業概要 語尾の復習と丁寧語、否定・勧誘・命令の表現の練習し、自分で読み書きや簡単な会話が自由に行えるようにする(A2、K1、K2)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	4	①授業テーマ 助詞の復習 ②授業概要 助詞の復習と既出助詞を使って文章を作る練習をし、自分で読み書きや簡単な会話が自由に行えるようにする(A1、D1、K1、K2)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
	5	①授業テーマ 「遅れてすみません」 ②授業概要 「遅れてすみません」理由・原因を表す表現や理由・原因、否定、意図の表現を学習し、自分で読み書きや簡単な会話が自由に行えるようにする(A1、A2、K1、K2)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。

6	①授業テーマ 「ビビンバを食べたいです」 ②授業概要 「ビビンバを食べたいです」希望・願望、理由、意志形を表す表現を学習し、自分で読み書きや簡単な会話が自由にできるようにする(A2、K1、K2)。 ③予習 (60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
7	①授業テーマ 「最近忙しいですか」 ②授業概要 「最近忙しいですか」形容詞の非格式体の丁寧な叙述形終結語尾を学習する。また、「으」脱落とに不規則活用の練習、意志の表現を学習し、自分で読み書きや簡単な会話が自由にできるようにする(A1、A2、K1、K2)。 ③予習 (60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
8	①授業テーマ 『4課～6課復習』 ②授業概要 数詞、語尾、助詞、会話の復習、文型の練習、聞き取りを通じて文法の理解度の確認をしながら、自分で読み書きや簡単な会話が自由にできるようにする(A1、K1、K2)。 ③予習 (60分) 今までの授業を振り返り、理解してない部分をメモする。 ④復習 (60分) 今まで授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
9	①授業テーマ 授業総括・到達度確認・リアクションペーパー講評 ②授業概要 今まで授業で学んだことを、授業内小テスト、あるいはリアクションペーパーを通じてその成果を把握する(A1、A2、K1、K2)。 ③予習 (60分) 今まで授業で学んだことを復習する。 ④復習 (60分) 授業内中間テストで理解しきれなかった部分を再確認する。
10	①授業テーマ 「どこで撮った写真ですか」 ②授業概要 「どこで撮った写真ですか」連体形の活用、逆接の表現を学習し、自分で読み書きや簡単な会話が自由にできるようにする(A2、K1、K2)。 ③予習 (60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
11	①授業テーマ 「韓国に来てからどのぐらいになりますか」 ②授業概要 「韓国に来てからどのぐらいになりますか」経過、授受、意図の表現を学習し、自分で読み書きや簡単な会話が自由にできるようにする(A1、K1、K2)。 ③予習 (60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
12	①授業テーマ パソコン、携帯での韓国語入力 ②授業概要 パソコン、携帯での韓国語入力ができるように練習する。また、ノートパソコンや携帯で韓国語での検索もできるように学習し、自分で自由にできるようにする(A2、K1、K2)。 ③予習 (60分) 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。

	13 ①授業テーマ 「美術館はどこから近いですか」 ②授業概要 「美術館はどこから近いですか」形容詞のロ不規則活用、条件の表現を学習し、自分で読み書きや簡単な会話が自由にできるようにする(A1、K1、K2)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習するとともに、授業に参加する前に必ず本文を一度読み、新しい単語の意味を調べる。 ④復習（60分） 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。 14 ①授業テーマ 韓国文化の体験 ②授業概要 韓国文化の体験をしながら、韓国文化への理解を高めるようにする(A2、A2、D1、K1、K2)。 ③予習（60分） 前回の授業で学んだことを復習する。 ④復習（60分） 授業で学んだ韓国文化等について認識を深める。 15 ①授業テーマ 『韓国語Ⅲ』授業総括・到達度確認・レポート講評 ②授業概要 『韓国語Ⅲ』の総まとめについて学習し、『韓国語Ⅲ』に関する成果を確認する(A1、A2、K1、K2)。 ③予習（60分） 今までの授業を振り返り、理解してない部分をメモする。 ④復習（60分） 今まで授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。
関連科目	韓国語Ⅱ（RMGT1762）、韓国語Ⅳ（RMGT1764）
教科書	教科書は特に使用しません。プリントを配布します。
参考書・参考URL	授業中に適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 時間外にアポイントメントを希望する方は、メールで事前に連絡をしてください。
研究比率	

